

平成27年1月6日
農林水産部水産課
担当 岩本・吉田
内線 4830
外線 (076)225-1652

第2回全国海女文化保存・振興会議の開催について

女性による伝統的な素潜り漁（海女漁）は、漁獲物や従事者数の減少から、存続が危ぶまれています。そこで、平成26年1月に、文化財保護や水産振興の両面から海女漁の存続を図るため、8県の知事を委員とする「全国海女文化保存・振興会議」を設立しました。

今回は、文化財保護や水産振興の両面から意見や情報交換等を行うため、全国知事会議終了後に、第2回の会議を開催します。今回から新たに山口県が参加します。

なお、会場スペースの都合により、取材をご希望される場合は、1月7日（水）15時までに、別紙1により事務局宛（三重県）にFAXにて申込みをお願いします。

記

1 日 時 平成27年1月8日（木）17：45～18：20

2 場 所 都道府県会館3階 全国知事会会議室
（東京都千代田区平河町2-6-3）

3 出席者 関係9県の知事または代理

4 その他

- （1）全国知事会終了後の開始となることから、開始時間が変更になる可能性があります。
- （2）会議の詳細については、別紙2をご参照下さい。
- （3）会議終了後、出席の委員が揃い、取材時間を設ける予定です。
- （4）なお、関係9県及び農林水産省担当の報道機関に対して、同時に資料提供を行う予定です。

(別紙1)

三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課 宛て

(FAX 059-224-3023)

第2回全国海女文化保存・振興会議【平成27年1月8日(木)】

社名(支局等)	ご氏名	備考 (カメラマン、ムービー等の区分)

担当者ご氏名 _____ (1名の取材の場合は記入不要)

連絡先 _____ (会社電話)

緊急時連絡先 _____ (携帯電話など)

(別紙2)

第2回全国海女文化保存・振興会議の概要

1 背景

女性による伝統的な素潜り漁（海女漁）は、漁獲物や従事者数の減少から、存続が危ぶまれています。そこで、平成26年1月に、文化財保護や水産振興の両面から海女漁の存続を図るため、8県の知事を委員とする「全国海女文化保存・振興会議」を設立しました。

今回は、文化財保護や水産振興の両面から意見や情報交換等を行うため、全国知事会議終了後に、第2回の会議を開催します。今回から新たに山口県が参加します。

2 日 時 平成27年1月8日（木） 17：45～18：20

3 場 所 都道府県会館3階 全国知事会会議室
（東京都千代田区平河町2-6-3）

4 内 容（予定）

- (1) 海女サミットの模様と安倍昭恵首相夫人のメッセージ紹介
- (2) 会長挨拶 三重県知事
- (3) 新規参加県の紹介 山口県の紹介
- (4) 参加県知事から一言
- (5) 石川県の取組紹介
- (6) 民間の取組紹介 三重県の「海女もん」
- (7) 事務局からの報告 平成27年度の取組予定等
- (8) 記念撮影

5 出席予定者

関係9県の知事または代理

（岩手県、宮城県、石川県、福井県、静岡県、三重県、鳥取県、山口県、徳島県）

<参考> 全国海女文化保存・振興会議 委員

岩手県知事 達増拓也、 宮城県知事 村井嘉浩、
石川県知事 谷本正憲（副会長）、 福井県知事 西川一誠、
静岡県知事 川勝平太、 三重県知事 鈴木英敬（会長）、
鳥取県知事 平井伸治、 山口県知事 村岡嗣政、
徳島県知事 飯泉嘉門